

小学校 低学年

言語活動 「互いの考えを伝え合い、
自らの考えや集団の考えを発展させる」

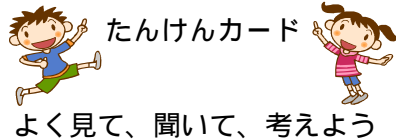
育成したい
言語の能力

考える力：自分や友達の思いを比べたり、結び付けたりしながら
話し合い、気付いたことをまとめる。

教材等の例

- <予想される児童の反応>
- ・古い新聞や本をしまっておく棚が自動で動く。
 - ・本を探すパソコンがある。
 - ・ベビーベッドがある。
 - ・小さい子にビデオを見せているお母さんがいた。
 - ・読み聞かせをしてくれた。
など

ワークシート



月 日 名前
めあて
見つけたもの・聞いたこと・すごいこと ふしぎなこと・わかったことを書こう。

思ったこと・気づいたこと

単元名等

2年 生活「もっと町を知りたいね」

10時間目 / 21時間

本時の目標

図書館探検で見つけたことや聞いたことを発表し、話し合う活動を通して、図書館にあるもの、働く人の様子や工夫、利用する人への気付きを広げ、深めることができる。

本時の流れ

伝え合う

図書館を探検して気付いたこと、みんなに知らせたいことを「すごいひみつ」として発表する。

指導の工夫

学校の図書室と比べて、「学校の図書室にはないすごいもの」などという言葉かけで、表現する視点を示す。

発展させる

みんなの気付いていないことに気付いた友達の意見を聞き、出された意見と関連したことが書かれていないか探検カードを見直し、書いてあった場合は発表する。

友達の意見に関する教師からの発問に対して、自分の考えを書く。

自分や友達の気付きや思いを話し合う。

2回目の探検で確かめたいことや知りたいことをカードに書く。

ねらいを意識して、カードから、話し合わせたい内容に気付いている児童を見取り、意図的な発問や指名をする。